

01 教会ニュース

2018年万民夏のキャンプ

韓国国内と海外からも参加する万民の祝祭、2018年夏のキャンプにしるしと不思議、霊肉ともに豊かな答えと祝福があふれた。

02 いのちのみことば

人の子の肉と血を食べて飲んでこそ永遠のいのちを得る(2)

神のことばをよく糧としようとするなら、聖霊に感じて悟るだけでなく、火のような祈りで恵みを受けて強くされていく努力が必要だ。

03 証し

「力と権威、すべてのものにまさる主」

主にあつて平安と希望があふれる韓国のキム・ギボ長老と、悪霊の勢力から解放されて幸せを見つけたマレーシアのチュボン聖徒の証し。

04 キャンプファイヤー

真夏の夜を綾どった美しい天国の祭り

主の尊い血で救ってくださり、愛と犠牲によって天国の新しいエルサレムまで導く三位一体の神に賛美で栄光を帰したキャンプファイヤー。

支教会10月スケジュール

# 万民ニュース

第191号 2018. 9. 23.

## MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

## 神の愛と力で満ちていた祝福の時間！

### 海外25か国から参加した「2018年万民夏のキャンプ」



2018年8月6日(月)から8日(水)まで三日間、全羅北道ムジュ・ドギョ山リゾートで「2018年万民夏のキャンプ」が開かれた。海外25か国から総会長と主のしもべ、聖徒が参加した中、GCN放送を通して生放送され、英語、中国語、日本語、ロシア語、スペイン語、フランス語、タイ語、ドイツ語、モンゴル語、ベトナム語の計10言語で同時通訳された。また、豊唾の聖徒のために8言語(韓国語、英語、マレーシア語、タイ語、ラトビア語、デンマーク語、ドイツ語、中国語)で手話通訳された。

今年もトンボが聖徒たちの指と体に親しげに飛んで来て止まり、全国的な猛暑の中でも、キャンプが行われたムジュ・ドギョ山リゾートのジャ

ンピングパークには、終始風と雨、雲等を通して23～26度の最適の気温と天気調節される、不思議なみわがが現れた。それで聖徒たちはゴシェンの地のようにいつも神の空間中で守られている愛と恵みをさらに体験した。

善と信仰、従順が答えの鍵、  
いやしのみわがが現れた「教育」

初日の教育の時、講師イ・スジン牧師(教職者会会長)は「霊の世界」(ヨハネ4:24)というタイトルで、霊の世界は善と愛と真理で満ちた空間であると同時に、三位一体の神が心に抱かれることが保障されて現れる世界だと説明した。続いて、霊の世界

の門を開いて神の答えと祝福を引き下ろす鍵は、善と信仰、神の人を信頼して従うことだと伝えた。

その後、講師イ・スジン牧師は悔い改めの賛美と祈りを導いた後、堂会長イ・ジェロク牧師が祈って神の力が込められたハンカチ(使徒19:11～12)で講壇の上から参加者全体のために祈った。講壇の下では万民祈禱院イ・ボンニム院長、芸能委員会委員長イ・ヒジン牧師、万民全支教会総指導教師イ・ヒソン牧師、イエス・キリスト・アフリカ連合聖潔会総会長チョン・ミョンホ牧師が受付をした聖徒たちに直接ハンカチで祈った。

その結果、肺がん、てんかん、神経損傷、アトピー性皮膚炎、脊椎結核、片麻痺、言語障害、靭帯裂傷な

どがいやされ、統合失調症、うつ病等の精神疾患もいやされ、視力、聴力が回復するなど、神に大いに栄光を帰した。この他にも海外6か国から参加した28人の豊唾の聖徒のうち24人の耳が開かれるか前よりよく聞こえるようになり、骨がんで苦しんでいた聖徒は聖霊の火を受けていやされたと証しをした。

また、世界各地からGCN放送とインターネットで参加した聖徒たちに時間と空間を超えた聖霊のみわがが現れた。YouTubeでスペインから参加したイベニ・ガブリエル聖徒はめまいと頭痛、嘔吐などがいやされ、インド・デリーからは歩行障害や腎臓結石、各種の痛みがいやされたと証しを伝えて来た。

# 人の子の肉を食べて、 その血を飲んでこそ 永遠のいのちを得る(2)



堂会長イ・ジェロク牧師

「イエスは彼らに言われた。

『…人の子の肉を食べ、  
またその血を飲まなければ、  
あなたがたのうちに、  
いのちはありません。  
…わたしの肉はまことの食物、  
わたしの血はまことの  
飲み物だからです。』

(ヨハネ6:53~55)

人がこの地上に生きていながら生命を維持するには、食物を食べ、同時に水分を摂取しなければならない。水を飲んでこそ消化、吸収され、不必要な老廃物と毒素が排出されることができる。このようにイエス・キリストを受け入

れて聖霊を受け、神の子どもとされたとしても、人の子の肉を食べ、その血を飲んでこそ永遠のいのちを得ることができる。

それでは、果たして人の子の肉と血をどのように飲み食いしてこそ永遠のいのちを得られるだろうか。前号に続いて調べてみよう。

## 1. 人の子の肉を食べて心に糧としてこそ

神の子どもが人の子の肉を食べて完全に糧とするには、必ず人の子の血を飲まなければならない。すなわち、聖書に記されている神のことばをまめに聞いて読んで知識として積むだけでなく、そのみことばを糧として、心に完全に臨むように行わなければならないのだ。

それでは、心に糧とするということと知識としてだけ入れることには、どんな違いがあるだろうか。頭に記憶されたものは忘れることがあり、真理を知識的に知っているからといってそのとおりに行えるのでもない。聖書を暗唱する時にも、口先だけで覚えるのではなく、その霊的な意味を繰り返し味わって心に糧としなければならない。

たとえば「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈いなさい。」(マタ5:44)というみことばを心に糧としたとすれば、暮らしの中で行いとして出て来るのが見られる。敵が悪を行って自分を迫害する時も、愛と憐れみの心が湧き上がって来るので、神のことばどおりに愛し、むしろ相手のために涙で祈るのだ。もし人の子の肉を食べて頭に知識としてだけ入れているなら、気に障って相手が憎くなり、悪をもって悪に報いるしかない。だが、心に糧とした人は愛と柔和をもって行うので憎しみと憤りが抜けて行き、謙遜に行うので高ぶりが抜けて行く。すると次第に善をもって悪に打ち勝つことができるのだ。

## 2. 人の子の血を飲む行いが伴ってこそ

神のことばをよく糧とするなら、聖霊に感じて悟るだけでなく、火のような祈りで神の恵みを受けて強くされなければならない。それと共にみことばを信じて守

り行う努力が必要である。このような行いがまさに人の子の血を飲むということである。したがって「人の子の血を飲むということ」は神のことばを信じて行うことを意味する。

神のことばは大きく四つに区分できる。「守りなさい」「捨てなさい」「しなさい」「してはならない」とあるので、そのとおりに守り行ってこそ神のみわざが体験できる。

このような行いがなければ神のみわざを体験できず、知識的な信仰から抜け出すことができない。〈ヤコブ2:22〉に「あなたの見ているとおり、彼の信仰は彼の行いとともに働いたのであり、信仰は行いによって全うされ、」とあるとおり、信仰によって行いを現わしてこそ知識的な信仰が霊の信仰へと完全に変わられる。

初めはからし種ほどの信仰でも、行いとして現わすとき、神の恵みと力を体験することで日増しに信仰が成長して、大きい信仰を所有することができるのだ。すべてのことにおいて神のことばをそのまま信じて行ってこそ、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するようになる(エペソ4:13)。

反対に、聖霊を受けてからし種ほどの信仰があるとしても、行わなければ、いくら長い時間信仰生活をしているとしても霊的な体験ができず、心が変えられることも難しい。まかり間違えば小さい信仰さえ奪われて、救いと遠くなることがあるということを悟り、人の子の血を飲む行いによって信仰を完全にしよう願う。

## 3. 救いと永遠のいのち、答えと祝福が臨むには行いのある信仰があってこそ

聖書に記されている神の答えと祝福のみことばをまことに信じるなら、必ず行いが伴うだろう。もし信じられるような人が、ソウルから歩いてプサンのある浜辺に行けば、数億ウォン分の宝物をあげようと約束したとしよう。本当に宝物を手にしたなら、歩いてでもプサンの浜辺に行くだろう。

〈ヤコブ2:26〉に「たましいを離れたか

らだが、死んだものであると同様に、行いのない信仰は、死んでいるのです。」とある。ところが、多くの人が口では「全知全能の神様を信じます」と告白するが、心には完全に信じられないので、行いのある信仰を現わせない。誰でも聖書に記されている神のことばどおり行う霊の信仰を所有してこそ救われて、答えと祝福もいただくことができる。

ある人は〈ローマ10:13〉に「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」とあるので、口で主の御名を呼び求めれば、いくら罪の中で生きている人でも救われることができると言って、自分の罪を正当化させようとする。しかし、このみことばは、死ぬしかない罪人を主イエス・キリストの御名によって救われた、神の限りない愛を表わしているのであって、不法を行う人を正当化させる聖句ではない。

神のことばには連れ合いがあるので、前後の文脈を調べて、聖霊に感じて解き明かしてこそ正しく理解できる。〈ローマ10:9~10〉に「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」とあり、心に信じて義と認められる人が口で告白するとき、救われるのである。

それでは、心に信じて義と認められるということは何だろうか。〈ローマ2:13〉に「それは、律法を聞く者が神の前に正しいのではなく、律法を行う者が正しいと認められるからです。」とある。神のことばを聞いてまことに心に信じる人は必ずそのまま行うので、義と認められるようになるのだ。

愛する聖徒の皆さん、

人の子の肉を食べてその血を飲んでこそ永遠のいのちを得ることができる。まめに人の子の肉と血を飲み食いする者になって、行いのある霊の信仰で神に喜ばれ、すべてのことにおいて栄えるように、主の御名によって祈る。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Global Christian Network

Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.gcntv.org  
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

## 万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ピン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
www.manminnews.com  
編集発行: 万民中央教会  
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29  
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048



## 「不整脈がいやされて健康になり、大統領表彰までいただきました」

キム・ギホ長老(63歳、韓国3大大23教区)

私たち夫婦は堂会長イ・ジェロク牧師先生の証し手記『死の上がり框で味わう永生』を読んで恵みを受け、万民中央教会を訪ねました。ところで、来てみると、家内が定めの祈りをしているうちに夢で三回も見た、まさにその聖殿だったのです。

神様がご自身で導いてくださったという確信のうちに1991年5月、万民の羊の群れになった私は、堂会長先生の説教を通して霊的な渇きが解消され、主日を完全に守り、十分の一献金をことごとくしながらみことばに聞き従おうとしました。

そうしていた2001年、道義上理解できない出来事にあつて、心の苦しみをひどく受けるようになりました。その日の夜、床に就いたのですが、何かがつま先から胸まで上がってくる感じがすると、心臓が不規則に早く打って、呼吸困難の症状が現れました。とうてい息ができなかったのです。

その瞬間、堂会長先生の電話の自動音声によるいやしの祈りのことが思い出されて、何回か受けたら次第に呼吸が落ち着きました。その後、眠りについたので、夢に堂会長先生が白い医師のガウンを着て、手に手袋をはめて私のところに来られ、心肺蘇生術をするように胸を三度も強く圧迫してくださいました。

翌日、病院に行って検査を受けたら、お医者さ

んは不整脈だ、再発の恐れがあると言いました。けれど、私は今まで何の後遺症もなく17年間健康です。ハレルヤ！

このことをきっかけに私は心が新しくなって、生きていることを尊く思い、感謝が増し加わりました。イルサン支聖殿の聖徒さんたちを車で送迎する奉仕をして、男性地域長の使命をいただいて魂を顧みるようになったのです。娘のキム・マリヤ姉妹も深刻な脊椎側湾症が、堂会長先生に祈りを受けたとき、聖霊の火が臨んでいやされ、家内のイ・ファジャ勸士も具合の悪いところ一つなく元気に地域長の使命を果たしているの、家庭にいつも笑い声が絶えません。

事件や事故の多い世でも、主にあつて憂いや心配なく生きていく祝福をいただいた私は、今年また一つ大きい祝福をいただきました。山林庁ソウル国有林管理所の公務員として28年間以上勤めたのですが、今年6月30日、公職生活を終えて行政安全部から大統領表彰まで受けたのです。

今まで私のすべての人生に責任を負ってくださり、つかい棒になってくださった素晴らしい三位一体の神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、いのちのみことばで養ってくださった堂会長先生にも心から感謝します。

私が小さかったとき、両親はお金を稼ぐために面倒をよく見られませんでした。かえって両親から叩かれてののしられ、周りの人たちからも無視されたので、いつも恐ろしくて不安で悲しくて孤独で、自信もありませんでした。その上、体も虚弱でした。

14歳の時、隣の家の女性が井戸に飛び込んで自殺したという知らせを聞いて、事故現場に行って帰った後には、おかしなことに生きる意欲を失って、誰も私を愛してくれる人がいないという孤独感に襲われて、自殺したくなりました。

結婚した後も否定的な思いがぎっしりで、憂鬱でしきりに自殺衝動が起きました。その最中に偶然聖書を読んで、教会に行ってみようようになったのですが、まめに通えませんでした。

2015年、「クアラルンプール国際図書展」で万民出版社のチョン・デボラ社長に会って、聖潔の福音と万民教会の働きについて聞きました。堂会長イ・ジェロク牧師先生の著書『いやす主』も購入しました。これが縁になって、私はクアラルンプールで開かれた「WCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)国際キリスト教医学学会」にも参加しました。で



## 「悪霊の勢力から解放されてうつ病がいやされたので天国そのものです！」

チュボンピン聖徒  
(43歳、マレーシア)

も、みことばをよく知らないうえに真理に導いてくれる人がいなかったの、相変わらず霊肉ともにひどい苦しみを受けていました。

そのうち2016年9月からインターネットで堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教を聞くと、神様は愛だということがわかるようになりました。しばらくして私は万民の聖徒として登録し、毎日メッセージを聞いて堂会長先生のいやしの祈りを受けました。すると体にいるものが耐えられずに発作を起しましたが、堂会長先生が祈ってくださる夢を見た後、意識がはっきりして安らかになりました。

2017年8月、万民夏のキャンプに参加して完全に答えをいただこうと、私は「十字架のことば」の説教を聞いて

て、過ぎし日を悔い改めて祈りました。万民中央教会に到着すると、また発作が起きました。悪霊が追い出されるのをあらかじめ知って、恐ろしかったのです。悪霊は私に「出て行かない」と言いましたが、私は「必ず出て行かなければならない」と言いました。

いよいよキャンプの初日、堂会長先生が祈ってくださる

とき、私の両手に戦慄が走ってひどい発作を起しました。私には何の力もなかったし、話もできなかったのです。意識はあったのですが、体をコントロールできませんでした。もう一度堂会長先生が私のために祈ってくださると、すぐに悪霊は私の中から出て行きました。ハレルヤ！



▲ 2017年万民夏のキャンプの時、神の力あつる祈りで体の中にある悪霊が出て行き、証しをしているチュボンピン聖徒

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト飯田万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
<http://iidamanmin.to.cx/>
- イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771
- イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光台4 条 3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652
- イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003
- イエス・キリスト東京万民教会  
(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740
- 名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874
- イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980
- イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町3 丁目36-1 栄ビル2F  
T) 03-3809-3326  
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- 岡山万民教会  
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢 3206  
T) 0866-57-9691
- イエス・キリスト沖縄万民教会  
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28- 10 サンライフ米須301号  
T) 098-914-3027



変えられた聖徒たちが神に  
ささげる愛と感謝の香り、  
キャンプファイヤー

2018年万民夏のキャンプ、二日目の夜にあったキャンプファイヤーは、講師イ・スジン牧師の導きで、芸能委員会のニシ・オーケストラ、金管アン

サンプル、パワーワシップチーム、グローリーワシップチーム、光の声重唱団、クリスタルシンガーズが共に感動の舞台を披露した。

第1部では、虚像でない実状を望む幸いな生き方をしていけるように変えさせてくださった三位一体の神の大いなる恵みと愛に感謝し、今はそ

の愛とともに聖潔の福音と牧者が行う力を全世界の万民に伝えるビジョンを再確認し、熱く主をほめたたえた。

続いて色とりどりの華やかな花火ショーがあり、第2部には、父なる神が備えられた最も素晴らしい天国、新しいエルサレムの主人公になって「永遠のところ」「美しい新しいエル

サレム」「JESUS」「輝く目を仰ぐとき」「愛してます万民の聖徒よ」等を心尽くして賛美し、主が下さった愛の力に包まれて、父なる神が備えられた最も素晴らしい天国、最も美しい天国、新しいエルサレムの主人公になるその日まで、目標に向かって力強く走って行こうと心を固めた。



10月支教会スケジュール

10月21日(日)	ハンカチ集会	東京万民教会(崔ピョンラン牧師)	10月28日(日)	リバイバルいやし集会	松本万民教会(伊藤時子牧師)
10月28日(日)	創立24周年記念礼拝・癒し集会	名古屋万民教会(柳承吉牧師)	10月28日(日)	創立18周年記念礼拝	東京田端万民教会(チョン・キョンテ牧師)